

2/17 (金) の発表

はじめよう、つづけよう。

「新北海道スタイル」



～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 新北海道スタイル

報道発表資料の配付日時 2月17日(金) 10時00分

発表項目 (行事名)	「令和4年度(2022年度)北海道地域文化選 ^{せんしょう} 奨」受賞者決定のお知らせ		
記者リチャ ー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概 要	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域に根ざした文化活動等を通して、地域文化の振興に貢献された個人・団体を顕彰する「北海道地域文化選奨」の受賞者を決定しました。 ○ 賞状の贈呈式を3月14日(火)に行う予定です。 </div> <p>1 受賞者</p> <p>北海道地域文化選奨 1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 江^えさし草^{そうかい}会【江差町】 <p>北海道地域文化選奨特別賞 2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定非営利活動法人 岩内美術振興協会【岩内町】 ・ まちなかぶんか推進協議会【旭川市】 <p>2 贈呈式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日 時：令和5年(2023年)3月14日(火) ・ 場 所：江差追分会館(檜山郡江差町中歌町193-3) ・ 贈呈者：小玉副知事 <p>※ 「まちなかぶんか推進協議会」【旭川市】は贈呈式に出席できないため、別途、旭川市内で伝達式を行う予定です。</p> <p>※ 贈呈式及び伝達式については別途、報道発表します。</p>		
参 考	賞の概要や受賞者の活動内容は、別添「令和4年度(2022年度)北海道地域文化選奨の概要及び受賞者について」をご参照ください。		

報道(取材) に当たっ ての お願い	受賞者の活動内容を多くの道民の方々に知っていただきたいので、積極的な周知をお願いします。		
他のクラブ との関係	同時発表	関係振興局記者クラブ(檜山・後志・上川)	

担 当 (連絡先)	環境生活部文化局文化振興課文化振興係 (担当者) 課長補佐 山口 拓磨 ダイヤルイン 011-204-5215 (内線 24-403)		
--------------	--	--	--

令和4年度(2022年度)「北海道地域文化選奨」の概要及び受賞者について

環境生活部文化局文化振興課

○ 「北海道地域文化選奨」の概要

「北海道地域文化選奨」は、地域に根ざしたユニークで優れた文化活動や文化支援活動を行い、それが実践者だけにとどまらずに、地域の文化振興に広く貢献している個人・団体（民間企業含む）を顕彰し、その活動内容を広く道民に紹介することで、道内各地の文化活動をより活性化し、北海道の地域文化の振興に資することを目的として、平成5年度に創設した表彰です。

北海道地域文化選奨	・地域文化の振興のため、特に優れた活動を行っている個人又は民間団体・民間企業を顕彰 ・原則として5年以上の活動実績があり、現在も継続しているもの
北海道地域文化選奨 特別賞	・地域文化の振興のため、優れた活動を行っている個人又は民間団体・民間企業を顕彰 ・原則として5年以上の活動実績があり、現在も継続しているもの

○ 令和4年度(2022年度)受賞者

<北海道地域文化選奨> 1件

江^えさし^{そうかい}草会【江差町】
「江さし草会」は、会員が投稿する文芸誌『江さし草』を発行している民間の文化団体として昭和51年の発足以来、46年もの長きにわたり年4回、一度も休刊することなく発行を継続している。 平成4年から「小中学生俳句展」を開催して江差町内の全小中学校の児童・生徒から作品を募り入選作を会誌に掲載、町内に展示するなど、その活動は地域に還元されており、江差の風土や文化の発掘、新たな魅力の発見につながるものである。

<北海道地域文化選奨 特別賞> 2件

特定非営利活動法人 岩内美術振興協会【岩内町】
「岩内美術振興協会」は、平成6年の設立以来、同年開館の木田金次郎美術館の管理運営を担うとともに、地域の美術文化と教育の普及を目的としたワークショップや絵画教室、作品の展示のほか、展示室でのコンサートや館内に飲食しながら交流できる場を設けるなど、人々が自然と芸術に触れることができる環境の創造に取り組んでおり、地域住民の文化活動への関心や参加意欲の向上に貢献している。

まちなかぶんか推進協議会【旭川市】
「まちなかぶんか推進協議会」は平成26年に文化関係団体を中心に地元商店会の参画も得て結成され、商店街の空き店舗を活用した「まちなかぶんか小屋」を拠点に演劇や音楽、落語、映画上映会等の多様なジャンルのアーティストの発表の場を設けるとともに市民へ鑑賞機会を提供するなど、文化・芸術の創造的な発信を続けている。 今後は、アーティストの地域への滞在を促進する事業にも取り組み、若者の創造活動支援など、地域への波及性、発展性も期待できる。